外科学総論　古田一徳授業ノート 2010/6/11作製

★★★臓器移植の適応　５つ

・末期的臓器不全

・移植により予後、生きられる可能性、QOLが良好

・不可逆的な多臓器不全が無い

・全身性の感染症が無い

・本人・家族がよく移植を理解し、希望している

★★★生体部分肝移植 レシピエント＝移植を受ける人

 ○メリット 予定手術ができる

 肝臓のバイアビリティーが良い

 ドナーがレシピエントに貢献しているという満足感

 拒絶反応が軽度

 ●デメリット 健康な人にメスを加える危険性

 再移植が困難である

★★★脳死肝移植

 ○メリット 健康な人にメスを加える必要が無い

 全肝・部分肝共に提供できる

 レシピエントの要求する移植片を選択できる

 ●デメリット 緊急手術である

 肝臓のバイアビリティーが悪い

 レシピエントは脳死ドナーの出現まで待たなくてはならない

★Opting In＝本人が生前、臓器提供の意思を示していた場合、または家族が臓器提供に同意した場合、臓器提供が行われる。日本では脳死で提供する場合、本人の意思表示かつ家族の同意が必要。

★Opting Out＝本人が生前、臓器提供に反対の意思を文書で残さない限り、臓器提供をするものとみなす。臨床の現場では、家族の反対があれば実際には臓器提供をしないことが多い

★2008年　イスタンブール宣言

 ☆自国の移植は自国でまかなう　海外渡航移植の自粛

 ☆臓器売買の禁止